図書だより

２０２４年１月号

三島高等学校　図書委員会

My Favorite Books

今回は、藤澤　真美　先生　です！

＝簡単な自己紹介をお願いします＝

101HR の副担任で、英語科の藤澤真美です。四国中央市での勤務は川之江高校以来 16 年ぶりです。ずいぶん様子も変わっていてびっくりしています。ずっと通勤時間が 15 分くらいだったのですが、今は約 40 分かけて通勤しています。私にとっては長距離通勤?!です。その日にするべきことを考えたり、朝の情報番組を聞きながら(運転中は音しか聞こえないため)、運転しています。東・中・南予の学校で勤務し、どの学校においてもいろんなことを経験させてもらい、楽しい時間を過ごすことができました。さて、こう見えて私は料理をすることが好きです。もうずいぶん昔ですが、合宿をしていた時には約 100 人分の食事を作ったりしていました。もう給食のおばさん状態でした(当時はまだ 20 代だったので“お姉さん”ですが)。これは業務用のコンロや炊飯器を使っていたので、作り甲斐がありました。匂いにつられて野球部の生徒が覗きに来ていました。

＝高校時代(大学時代)に感銘を受けた本を教えてください＝

幼いころから本を読むのが好きで、図書館にもよく行き、本を借りては読んでいました。特に推理小説が好きでコナン・ドイル、江戸川乱歩、赤川次郎の作品は特によく読んでいました。大学時代は市立図書館で一度に 10 冊本を借りることができたのが嬉しかったのを覚えています。おかげで、多くの本を借りて読んでいました。しかし、今、学生時代に感銘を受けた本は何かと聞かれて、何があったか思い出そうとするのですが、残念ながら思い出すことができません。ごめんなさい。灰谷健次郎さんの『太陽の子』、『兎の瞳』、『天の瞳』等を読んでいったように思います。個性的だけど純粋な心を持った倫太郎に寄り添って彼を見守って育ててきた彼の両親のようにありたいと思っていましたが、現実は･･･。反省することばかりです。

＝みなさんに読んでほしい本を教えてください＝

みなさんは古典の授業で『源氏物語』を読んだ、あるいは今後読むのではないでしょうか。そんな時よく紹介される?のが『あさきゆめみし』という漫画です。高校時代授業で『源氏物語』を読んだ後初めて『あさきゆめみし』を見ました。その時は登場人物の顔がどれも同じように見えてしまいました。その後教員になって国語の先生から『あさきゆめみし』を借りて読んで、現代語訳版の『源氏物語』を読みました。最初読んだ時はそれほど感じなかったのですが、繰り返し読んでいくうちに古典文学を読んでいるという感じがなくなり、小説を読んでいるような感じになってきました。みなさんもぜひ『あさきゆめみし』『源氏物語』を読んでみませんか。恋愛ドラマが好きな JK に特におススメです。

あとドラマ化・映画化された重松清さんの『とんび』もぜひ読んでほしい一冊です。ハンカチなしでは読めません。ドラマでは不器用な父親を内野聖陽さん、その息子を佐藤健さんが演じていたのですが、もう役にピッタリでした。涙を流さずにはいられない場面が多く、男子生徒も自分が佐藤健になったつもりで読んでみてはどうでしょうか。

＝三高生に一言！＝

ICT 化が進んで、生徒が一人一台端末を持ち、電子書籍、電子図書館を利用できる時代となりました。私も電子図書館を利用してみましたが、やはり紙の本の方が内容が頭に入ってきました。皆さんがスマホを利用している時間の何分の１かを読書することに置き換えてみませんか。普段できない経験が(頭の中でですが)できたり、見たことのない景色を見ることができるのではないでしょうか。また、みなさんには紙辞書を使うことを強く強くお勧めします。みなさんは紙辞書というと「重い」というイメージがあるようですが、電池切れで使えなくなることがある電子辞書と違い、電池切れはないし、少々乱雑に扱っても壊れません。皆さんが思っている以上の情報を辞書から得ることができます。つまり、知識の宝庫です。慣れれば電子辞書並みに速く引くことができます。また、有名な脳科学者の先生によると紙辞書を使う方が記憶に残るそうです。こんなにたくさんメリットがあるのに紙辞書を使わないなんてもったいない!!そう思いませんか。また、わからないことがあればそのままにしておくのではなく、先生に言われなくても「調べる」ということをして下さい。もっと好奇心を持っていくと自然といろんな知識が増えると思います。せっかくの辞書が宝の持ち腐れとなっていませんか？ちなみに、「国語辞典」で読書感想文を書いた生徒も以前いました。これには私もビックリしましたが…。

藤澤先生、ありがとうございました！！

2年6組図書委員のおすすめ本紹介♪

『この夏の星を見る』　　筆：辻村深月

顧問の綿引先生のもと、天文部で活動している高校二年生の亜紗はコロナ禍で部活が次々と制限され楽しみにしていた合宿も中止になる中、「スターキャッチコンテスト」も今年は開催できないだろうと悩んでいた。中学一年生の真宙は、新入生のうち唯一の男子であることにショックを受け「長引け、コロナ」と思っている。高校三年生の円華は、親友から距離を置かれてやりきれない思いを抱えている時にクラスメイトから天文台に誘われる。コロナ禍によるこれまで誰も経験したことのない状況の中で大人たち以上に複雑な思いをした中高生たち。しかし、コロナ禍ならではの出会いもあった。リモート会議で全国で繋がった天文部の生徒たちがスターキャッチコンテストの次に狙うのは・・・。哀しさ、優しさ、あたたかさなど人間の感情すべてがこの物語にある。

『世界からボクが消えたなら』　　原作：川村元気

余命わずかと宣告されたご主人さまは、自分と同じ姿をした悪魔と取引をした。「この世界からモノを一つ消す。そのかわりに、キミの命を一日ぶんだけのばす」と。電話、映画、時計……。モノが消えていくたびに、ご主人さまと結びついていた人の記憶までが失われていくようだ。そして悪魔は、世界から猫を消すと提案する。ボクのことなんて消したっていいんだよ、ご主人さま。世界から猫が消えたならのもう一つの物語で猫の視点で書かれた作品です。読書が苦手な人でも読みやすく感動できる作品なので、ぜひ呼んでみてください。

新着図書　多くの本が入りました！

・Dr.STONE　1 巻～26 巻　/稲垣理一郎・Boichi
・スピノザの診察室　/夏川草介
・令和ブルガリアヨーグルト　/宮木あや子
・黒い絵　/原田マハ
・夜明けのはざま　/町田そのこ
・成瀬は天下を取りにいく　/宮島未奈
・訂正する力　/東浩紀